



発信年月日：令和4年（2022年）10月13日
所属名：高島農産普及課
番号：H22004
部門分類：150（野菜）
発信者名：中川 深澤

イチゴ定植後の栽培管理研修会を開催しました。

9月29日に管内のイチゴ生産者14名を対象に栽培管理研修会を開催しました。当日は生産者5名が出席され、研修会では当課から定植後の栽培管理、環境測定に基づいた管理のポイント、代替肥料に関する情報提供を行いました。

管内は施設園芸ではイチゴが主要品目であり、14戸6,500㎡と1戸当たりの経営面積は小規模の方が多いながらも直売所の人気品目となっています。

近年、気候変動が激しく、収穫予測や栽培管理が難しくなる中で当課からは環境測定機器を活用し、温度、湿度、CO₂の測定値を元に生育に適した状態に自ら環境を変えていくことの必要性とその手法を説明しました。

また、国内で品薄となっている少量土壌培地耕に適した肥料について生産者から確保が難しい、という声があったことから管内で入手可能な主な肥料の銘柄、価格、組成などを取りまとめて紹介しました。

研修会では生産者から環境制御の費用対効果や代替肥料を用いた際のEC管理について質問があり、研修内容への興味・関心の高さが伺えました。

当課では今後も引き続き、研修会や現地指導を通じて支援を行っていきます。



代替肥料の概要を説明